

青森県原子力防災訓練に参加しました

当発電所は、10月25日、青森県等が主催する「青森県原子力防災訓練」に参加しました。

今回の訓練は、発電所の運転中に荒天の影響により外部電源が全て喪失し、原子炉の冷却機能および注水機能が失われたとの想定で行いました。

当日は、青森県、東通村、むつ市、横浜町、野辺地町、六ヶ所村のほか、関係機関などが参加し、避難所の開設や、傷病者の搬送・受入、放射性物質の付着を調べる検査などの訓練が行われました。

発電所内では所員79名が参加し、発電所対策本部運営訓練として、発電所対策本部内での指揮・命令や情報共有、社内外への情報伝達などの訓練を行い、対策本部が円滑に機能することを確認しました。



発電所対策本部運営訓練の様子

油火災消防訓練を実施しました

当発電所は、10月28日、油火災消防訓練を実施しました。

今回の訓練は、発電所の外部電源を受電する変圧器からの油漏れにより、火災が発生したとの想定で行いました。

当日は、変圧器の水噴霧消火装置による消火活動を行ったほか、発電所敷地内に配備している自衛消防隊の消防車2台を火災発生現場へ移動させて、防火水槽から水を汲み上げ、放水する消火活動などを行いました。



変圧器水噴霧消火装置による消火活動
噴霧前(左) 噴霧後(右)



化学消防自動車による消火活動

今後もさまざまな訓練を繰り返し、緊急時の対応力向上に努めてまいります。

東通中学校において「環境・エネルギー教室」を開催しました

当発電所は、10月27日、東通中学校3年生の生徒を対象に「環境・エネルギー教室」を開催しました。

当日は、地球温暖化とエネルギーとの関わりをはじめ、発電模型による原子力発電と火力発電の仕組み、発電自転車による発電体験を交えた学習を行いました。

生徒たちからは「地球温暖化が進行しないように、私たちができることを考え実行することが大事だと感じた」や「日頃から使わない電化製品のコンセントを抜くなど、省エネを心がけたい」などの感想が寄せられました。

当発電所では、今後も、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。



講義の様子



発電自転車による発電体験

「第48回東通村産業まつり」に電力コーナーを出展しました

10月30日に行われた東通村主催の「第48回東通村産業まつり」に、東京電力ホールディングス(株)と共同で電力コーナーを出展しました。

東通村産業まつりは、東通村における農林水産物の収穫を祝うもので、子どもにも人気のサケのつかみ取りや、木工教室、特産品・新鮮な野菜等の販売が行われ、多くの来場者が詰めかけました。

東通村体育館内の電力コーナーでは、来場されたお客さまに無料でコーヒーを提供したほか、当発電所員が東通村水産振興推進協議会による「サケのちゃんちゃん焼き」の調理のお手伝いをしました。



電力コーナーでくつろぐ来場者の皆さま